様式第１－３

自然環境保全地域野生動植物保護地区内動植物の捕獲等許可申請書

　自然環境保全法第26条第３項第７号の規定により、「○○○○」自然環境保全地域野生動植物保護地区内における野生動植物の捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷の許可を受けたく、次のとおり申請します。

　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者の住所及び氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては、名称、

住所及び代表者の氏名

　　　○○地方環境事務所長　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目的 |  | |
| 場所 | 都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番 | |
|  | |
| 行 為 地 及 び そ の付近の状況 |  | |
| 捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷する動植物の種類及び教量 |  | |
| 施行方法 | 捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷する方法 |  |
| 予定日 | 着手 |  |
| 完了 |  |
| 備考 |  | |
|

（参考）

１　申請書には、位置図及び捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷する範囲その他行為　の方法を明らかにした図面を添付する。

２　申請書の記載にあたっては、次のことに注意する。

（１）申請文の「　」の箇所には、当該自然環境保全地域の名称を記入すること。

（２）「目的」欄には、当該捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷しなければならない　必要性を具体的に記入すること。

（３）「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等周辺の状況を示すに必要な事　項を記入すること。

（４）「備考」欄には、次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

イ　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み

ウ　過去に自然環境保全法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件

エ　申請者以外に当該行為を行う者がいる場合は、その者の氏名

オ　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

３　申請書の用紙の大きさは、日本産業規格（JIS）Ａ４とすること。